

令和 6 年 概 況

令和 6 年の釧路港への水揚げは、数量で 17 万 3,659 トン（前年 18 万 9,416 トン）、金額は 118 億 820 万 4 千円（前年 143 億 2,314 万 8 千円）となり、前年と比較して数量 1 万 5,757 トンの減となり、金額は 25 億 1,494 万 4 千円の減となった。

水揚げ全国順位は、数量で 1 位（前年 1 位）、金額で 15 位（前年 13 位）であった。

（沖合底曳網漁業）

前年に続きスケトウダラが不振であり、数量は 2 万 3,967 トン（前年 2 万 7,049 トン）で 3,082 トンの減、金額は 31 億 9,763 万 4 千円（前年 33 億 5,296 万 4 千円）と、前年より 1 億 5,533 万円の減となった。

（さけます漁業）

日本 200 海里内で操業する小型鮭鱒漁業は、数量 35 トン（前年 36 トン）で前年より 1 トンの減、金額では 2,942 万 3 千円（前年 2,987 万 2 千円）となり、前年より 44 万 9 千円の減となった。

（まき網漁業）

前年と比較し、数量は 14 万 8,073 トン（前年 15 万 9,798 トン）で前年より 1 万 1,725 トンの減、魚粉主産国であるペルーのカタクチイワシ漁が解禁したためミール単価が下落したこともあり金額は 79 億 4584 万 7 千円（前年 101 億 390 万円）となり前年より 21 億 5,805 万 3 千円の減となった。

（さんま棒受網漁業）

前年と比較して、数量は 274 トン（前年 67 トン）で前年より 207 トンの増、金額では 9,146 万 4 千円（前年 2,708 万 7 千円）で、前年より 6,437 万 7 千円の増となったが、今年も不振は変わらない状況となった。

（いか釣り漁業）

いか釣り漁業で水揚げがされておらず、前年と比較し、数量、金額ともに皆減となった。

（沿岸漁業・その他）

数量、金額ともに前年を下回った。